



昭和39年
神町空港開港



昭和37年
蔵王エコーライン開通



昭和31年の山形市七日町商店街



昭和29年頃の酒田港



昭和10年
仙山線の仙山ずい道



大正11年
正法寺川の砂防工事



大正5年の山形駅



明治10年
工事中の栗子トンネル



明治初年の山形県の地図



昭和49年 酒田北港開港



昭和55年 山形県野球場完成



昭和62年 最上川流域下水道(村山処理区)供用

建設行政に関する県内の主な出来事



平成2年 寒河江ダム完成



平成3年 庄内空港開港



平成4年 山形新幹線開業



平成7年 県郷土館(文翔館)開館



平成11年 山形新幹線新庄延伸



平成13年 銀山川河川整備(景観整備)



平成16年
山形自動車道寒河江SAスマートIC



平成17年 山形県の道路規制情報
山形県河川・砂防情報システム

建設行政に関する主な出来事(戦前)

年代	年	主な出来事(東北の土木史より抜粋)
明治	明治10年	初代県令三島通庸により初めての県庁舎が建設される 三崎峠の道路開削工事が完了(飽海郡女鹿村)
	明治13年	院内峠の道路開削工事が完了(及位) 水無川治山治水事業に着手 関山新道の開削に着手
	明治13年	栗子隧道が開通(万世大路)
	明治14年	福島～米沢間に万世大路(米沢街道)が完成
	明治15年	関山隧道開通(関山新道) 関山新道が完成
	明治16年	初めての県会議事堂が完成
	明治17年	加茂港改修工事に着手
	明治19年	小国新道開通(越後街道)
	明治23年	山形県東高校前の新井田川に眼鏡橋が完成
	明治24年	加茂隧道開通
	明治25年	内務省の計画で最上川治水工事が完成
	明治27年	酒田市広野に両羽橋が完成
	明治30年	山形県の計画で寒河江川築堤工事が完了
	明治34年	奥羽本線 袖崎～大石田間で今宿トンネルが開通
	明治35年	奥羽本線 芦沢～舟形間に滝の沢トンネルを構築

建設行政に関する主な出来事(戦前)

年代	年	主な出来事(東北の土木史より抜粋)
	明治44年	山形市北大火により、県庁舎・県会議事堂が焼失
大正	大正元年	この頃、最上川において複式閘門の設置に着手
	大正2年	陸羽西線 升形～津谷間に岩清水トンネルが、津谷～古口間に第一最上川橋梁が完成 馬見ヶ崎川大洪水(家屋流失6戸、浸水537戸、堤防決壊・破損1,339m、道路損壊3,049m、橋梁流失5箇所)
	大正3年	陸羽西線 高屋～清川間において立谷沢川に橋梁を建設 長井線 今泉～白川間において白川橋梁を建設 陸羽西線 古口～高屋間に沓喰トンネルおよび板敷山トンネルを建設 陸羽西線 高屋～清川間に腹巻山トンネルを建設 陸羽西線 新庄～余目～酒田間が全線完成 西村山郡西朝日町の朝日川に旭発電所を建設
	大正5年	東根市神町～西村山郡谷地町間に谷地軌道建設工事を完了 丹生川支川河原沢川(現中沢川)、大樽川流域で本県初の砂防事業開始(山腹工、谷止工等) 旧県庁舎及び旧県議会議事堂完成
	大正6年	酒田港修築工事に着手 陸羽東線 鳴子～羽前町間の開通により小牛田～新庄間が全線完成 大蔵村豊牧地すべり発生(130ha、家屋60戸が横道沢に移動、8戸移転)
	大正7年	最上川下流改修工事に着手 酒田港築港

建設行政に関する主な出来事(戦前)

年代	年	主な出来事(東北の土木史より抜粋)
	大正8年	東田川郡清川村～飽海郡上郷村において最上川下流改修工事に着手
	大正10年	羽越本線 吹浦～女鹿間に吹浦トンネルを建設 羽越本線 吹浦～象潟間に鉄道を建設 赤川放水路の開削事業着手
	大正11年	左沢線 羽前高松～左沢間に鏡山トンネルを建設、寒河江～左沢間が完成し全線開通 羽越本線 三瀬～羽前水沢間に矢引トンネルが完成 長井線 長井～鮎貝間の鉄道建設工事が完了
	大正12年	長井線 鮎貝～荒砥間において最上川橋梁と鉄道工事が完了
	大正13年	山形市で上水道工事(水源～配水管)を完了 羽越本線 新津～秋田間の全線が開通し裏日本縦貫鉄道が完成
	大正15年	長井線 米沢～今泉間に鉄道を建設
昭和	昭和2年	赤川放水路の一部通水
	昭和3年	寒河江市～西村山郡西川町において三山電気鉄道が民営鉄道を建設
	昭和4年	西村山郡西川町の寒河江川において水ヶ瀬発電所を建設 飽海郡平田町と松山町の境界に宝永橋架換工事を完了
	昭和5年	酒田市上水道工事(創設)を完了 酒田市下瀬地内に下瀬閘門新設工事を完了 須川水系酢川で砂防ダム工事に着手

建設行政に関する主な出来事(戦前)

年代	年	主な出来事(東北の土木史より抜粋)
	昭和6年	長井市で長井橋を架橋 米坂線 今泉～手ノ子間に鉄道を建設
	昭和7年	念珠関村において港湾修築工事に着手 酒田市入舟町において第一酒田埋立工事が完了
	昭和8年	最上川支川立谷沢川および銅山川において直轄砂防工事に着手 東田川郡朝日村において梵字川発電所建設工事を完了 楯岡町上水道敷設工事ならびに大沢貯水池工事が完了 酒田港仮護岸工事が酒田市山居町地内で完了 仙山線 羽前千歳～山寺間が開通 酒田港背割堤工事が酒田市袖岡、家岸、下瀬地内で完了 酒田港において北防波堤工事に着手
	昭和9年	西置賜郡豊田村～鮎貝村間および寒河江町～横山村間において最上川上流改修工事に着手 本合海橋を架橋 仙山トンネル(宮城県～山形県境の面白山を掘削)建設工事に着手 加茂港で漁港修築事業が完了 酒田市下水道工事が旧市内の一部で完了 南陽市赤湯で赤湯上水道が完了 指定府県道 鶴岡白岩線(俗称六十里街道)改修工事が東田川郡本郷村～西村山郡本道寺村で完了
	昭和10年	鶴岡市馬場町で鶴岡市上水道事業が完了

建設行政に関する主な出来事(戦前)

年代	年	主な出来事(東北の土木史より抜粋)
	昭和11年	<p>酒田港において船場町岸壁工事、航路浚渫工事、北防波堤工事に着手</p> <p>明治13年完成の隧道を全面的に改修した栗子道路トンネルが完成</p> <p>両羽橋工事が酒田市新堀村において完了</p> <p>長井市で長井橋架替工事が完了</p> <p>米坂線が米沢～坂町で全線開通</p> <p>酒田市大浜地内で酒田港西埠頭岸壁工事が完了</p> <p>山形県の丹生川改修事業が完了</p> <p>山形県において大浜運河開削工事に着手</p> <p>大蔵村永松鉾山で大崩発生(死者11名)</p>
	昭和12年	<p>万世橋架橋が完了</p> <p>酒田市で下水道工事が完了</p> <p>仙山線 奥新川～山寺間の仙山トンネル(5,361m)が完成、仙台～羽前千歳間が全線開通</p> <p>米沢市松川沿岸～米沢市窪田までの最上川上流改修工事が完了</p> <p>寒河江市白岩で臥竜橋架換工事が完了</p> <p>最上川水系立谷沢川で直轄砂防事業に着手</p>
	昭和14年	<p>酒田市大浜2丁目において酒田港防波堤工事に着手</p> <p>加茂港の港湾修築工事が完了</p> <p>西村山郡朝日町で梁瀬橋が完成</p> <p>東田川郡立川町で立谷沢川第一発電所が完成</p>

建設行政に関する主な出来事(戦前)

年代	年	主な出来事(東北の土木史より抜粋)
	昭和15年	酒田港東埠頭岸壁工事が完了、1000トン級の船舶がけい船可能
	昭和16年	最上川流域立谷沢川砂防工事が完了 酒田港において港湾修築工事が完了
	昭和17年	最上川上流松川左支川において鬼面川改修工事が完了 酒田市大浜地内で光ヶ丘埋立工事が完了 赤川放水路が完成
	昭和18年	酒田市船場町で第二酒田埋立工事が完了 酒田市大浜地内で酒田港 - 3mの護岸工事が完了 酒田市袖岡地先において酒田港南防波堤工事が完了
	昭和19年	酒田市大浜地内において酒田港北防波堤工事が完了 最上豪雨等(死者7名、負傷者55名、家屋流失94戸、浸水3,138戸、堤防決壊300箇所、道路損壊181箇所、橋梁流失451箇所、耕地流失浸水22,205ha)

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
昭和 20年			最上川に架かる基点橋の架換が完了	月光川砂防工事(洗沢川を含む)が着工	
昭和 21年				大丹川中小河川改修事業が完成 月光川中小河川改修事業が着工	
昭和 22年				滝の沢川砂防工事が着工 銅山川直轄砂防工事が着工	
昭和 23年				アイオン台風(死者1人、負傷者14人、行方不明1人、家屋の流出や全半壊1807棟) 寒河江川中小河川改修事業が着工 升形川災害復旧助成事業が採択(S28年完成) 和田川砂防工事が着工(S40年完成) 白水川砂防工事(日塔川含む)が着工 金山川砂防工事が着工(H元年完成) 水無川砂防工事(赤川水系)が着工	鼠ヶ関港が避難港に指定
昭和 24年				新井田川中小河川改修事業が着工 蔵王川砂防工事が着工 馬見ヶ崎川砂防工事が着工	奥羽本線福島～米沢間の電化完成、一般旅客用運行開始
昭和 25年				立谷川中小河川改修事業が着工(S58年完成) 押切川(S25年、災害助成) 最上川水系寒河江川直轄砂防工事が着工 松川水系の直轄区域編入による前川・蟹沢直轄砂防工事が着工	加茂港北防波堤(着手)

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
昭和 26年				置賜白川中小河川改修事業が着工(S47年完成) 乱川中小河川改修事業が着工(S34年完成) 菅野ダムが着工(S28年完成) 吉野川中小河川改修事業が完成(S16年着工) 赤井川砂防工事(中沢川を含む)が着工(S45年完成) 寒河江川直轄砂防工事が着工 南村山郡中川村で雪崩発生(死者2名、重軽傷者3名)	温海温泉大火376戸焼失 港湾法により酒田港が重要港湾に、鼠ヶ関港が避難港に指定 飛島漁港第4種漁港指定、修築事業着手
昭和 27年			政令により従来の国道10号が国道7号(新潟～青森間)に、国道5号が国道13号(福島～秋田間)に指定	京田川中小河川改修事業が着工 犬川中小河川改修事業が着工 鶴岡海岸湯の浜地区浸食対策事業が着工 最上白川砂防工事が着工 吾妻山系の各地で雪崩発生(死者4名、負傷者3名)	第7回国民体育大会秋季大会 酒田港が出入国管理令による出入国管理指定港となる 加茂港が港湾法により地方港湾に指定 加茂港、鼠ヶ関港の港湾区域を指定 由良漁港修築事業着手
昭和 28年	東山野球場新設工事が完了(新庄市)		政令により108号(現47号)、110号(現48号)、112号、113号、121号が二級国道に指定	村山野川中小河川改修事業が着工(S63年完成) 荒沢ダムが着工(S30年完成) 最上川と赤川を分離締切り工事完成	西吾妻鉾毒防止事業が完了 酒田港第二船溜、護岸工事が完了 酒田港の港湾区域を指定
昭和 29年	温海火災復興区画整理事業完成			大網川(地すべり対策事業)が着工 県営菅野ダムが完成、発電開始 赤川を締切り最上川水系から分離	酒田港港湾計画決定(第4回港湾計画会議) 野川発電所運転開始 天童市で市営住宅建設事業に着手

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
昭和 30年	東山形土地区画整理事業が完了		国道13号雄勝トンネルが開通 県道尾花沢寒河江線(現347号)三ヶ瀬橋と長島橋が開通	大雨災害(死者・行方不明者5人、家屋の全半壊69戸、浸水3400戸) 実淵川砂防工事が着工(S33年完成) 荒沢ダム建設が完成 最上川濁水被害(県内各地で稲の一部が枯死)	鶴岡市水道事業(第一期拡張事業)が完成 仙山線で国鉄はじめての交流電化試験
昭和 31年	庚申堂土地区画整理事業が完了(山形市) 木の実小路土地区画整理事業が完了(山形市)	日本道路公団発足		朝日川砂防工事が着工(S32年完成)発電	倉沢発電所運転開始 和郷上水道工事が完了(南陽市) 蔵王ロープウェイが完成
昭和 32年	銅町土地区画整理事業に着手(山形市)		国道13号の糠野目が開通 羽黒山自動車道路が有料道路として一般車の供用開始 慈恩寺橋、荒砥橋、野川橋が完了	温海海岸温海地区海岸浸食対策事業が着工(S59年完成) 被川砂防工事が完成(S31年着工) 白川筋砂防堰堤が完成(S27年着工) 枝川筋に砂防堰堤が完成	朝日川第1発電所運転開始 仙山線において交流電気機関車による営業運転を開始 新庄市上水道新設事業が完成
昭和 33年			雪寒事業で除雪開始	掘立川中小河川改修事業が着工 木地山ダムが着工(S35年完成) 最上川中流部(清川～大石田)改修直轄工事着工 水無川筋に砂防堰堤が完成(S30年着工)	寒河江市上水道新設事業が完成 八久和発電所、新落合発電所が完成 木川ダムと朝日川第一発電所が完成 酒田港の臨港地区を指定
昭和 34年			大石田の最上川に亀井田橋が完成	大山川中小河川改修事業が着工 大山川災害復旧助成事業が採択(S39年完成) 温海海岸早田地区海岸浸食対策事業が着工(S54年完成) 伊勢湾台風死者5,200人余	長井線の鮎貝～荒砥間の最上川橋梁工事が完了

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
				砂防堰堤が水無川、日向川、大樽川に完成	
昭和 35年			国道13号の主寝坂トンネルと及位トンネルが完成、開通式 平塩橋が完成	泉田川中小河川改修事業が着工 吉野川改良工事が完成(昭和30年着工)	仙山線全線電化 朝日川第二発電所運転開始 酒田市上水道第三次拡張工事が完成
昭和 36年	県内初の公共下水道事業が認可(山形市山形駅前や七日町など)		国道13号猿羽根トンネル開通 吾妻スカイバレーラインが完成	内川中小河川改修事業が着工 酒田海岸十里塚地区海岸浸食対策事業が着工(昭和31年完成) 弧土沢緊急砂防工事が着工(昭和38年完成) 県営木地山ダムと野川第2発電所の完工式	野川第2発電所運転開始 奥羽本線の上野～秋田に特急「つばさ」、羽越本線の大阪～青森に特急「白鳥」運転開始 酒田高砂臨海工業用地が完成 酒田港大浜石油基地が完成
昭和 37年	千歳土地区画整理事業が完成(山形市) 上山市児童遊園地新設工事が完成		国道13号上山バイパスが開通 流雪溝の設置 有料道路蔵王エコーライン(上山市永野～宮城県蔵王町、全長26km)が全線開通 両田川橋架換工事が完成 融雪道路新設事業が完成(天童温泉通り) 宮川橋完了工事が完成 沖の橋架替工事が完成	最上川水系直轄地すべり対策事業に着手 鶴岡海岸堅苔沢地区海岸浸食対策事業が着工(昭和33年完成) 酒田港海岸保全区域指定海岸浸食対策工事着工 蔵王川荒廃砂防工事に着手 堅苔沢海岸浸食対策事業が完成 西大鳥川筋工事が完成 酒田港石油基地護岸工事が完成 大樽川砂防工事が着工	県初の公共用飛行場神町空港(滑走路1200m)の起工式 酒田港、鼠ヶ関港、加茂港の海岸保全区域を指定 寿岡発電所運転開始 上郷ダム第1発電所完成 天童市上水道拡張事業が完成 寿岡発電所、上郷発電所が完成 県初の県営住宅管理開始(山形市山家町に18戸・県営鈴川団地1号棟)
昭和 38年			三八豪雪で小国町が10日間孤立。死者6人、小国で積雪430cm	角川直轄砂防工事が着工	鼠ヶ関港地方港湾として整備着手(－4.5m岸壁)

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
			一の滝線県道改良工事が完了 蔵王橋が完成 天神橋架換工事が完了	豊牧直轄地すべり対策工事が着工 荒川中小河川改修事業が着工(Ｓ60年完成) 京田川災害復旧助成事業を採択(Ｓ42年完成) 高坂ダムが着工(Ｓ42年完成) 遊佐海岸比子地区海岸浸食対策事業が着工 荒川の砂防堰堤が完成(Ｓ37年着工) 阿世浪川筋改修工事が完成	加茂港海岸局部改良事業着手 酒田港大浜埠頭第二岸壁工事が完了 日向川発電所が完成
昭和39年	大道寺区画整理により児童公園、街路等が完了(尾花沢市) 中の川都市下水道整備工事が完了(新庄市)		鳥海国定公園事業道路新設工事に着手 清川橋架設工事に着手 小汲渡道路改良工事が完了(鶴岡市)	大蔵村柳淵地区で地すべり発生(全戸移動) 新潟地震で死者9人、負傷者99人(鶴岡市 大山で震度6、酒田市、新庄市などで震度5) 酒田海岸宮海地区海岸浸食対策事業が着工 鬼面川河川改良工事が完了	東京オリンピック開催 東海道新幹線営業開始 立谷川工業団地造成・分譲開始 神町空港開港(第3種空港、滑走路1,200m) 神町空港に東京便開設 鼠ヶ関港海岸局部改良着手 酒田港南防波堤補強工事に着手 酒田港南防波堤延長工事、公共臨港線護岸工事が完了 加茂港、鼠ヶ関港の臨港地区を指定 米沢市上水道施設事業が完了
昭和40年	県内初、山形市中心部に下水道完成、通水式		政令により現在の国道7・13・47・48・112・113・121号が誕生	鮭川、須川直轄編入事業に着手	神町空港が山形空港に改められる

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
	寒河江市八幡原土地区画整理事業に着手		蔵王ライン開通 県道狩川遊佐線(現国道345号)の最上川橋が開通 県営初の観光有料道路「蔵王ライン」が開通 国道13号の尾花沢市横内～真室川町及位の改良舗装完工式 国道13号の芳賀陸橋建設事業が完了 清川橋、母袋橋の建設に着手 沼田金沢線、沖中山町線の舗装新設工事が完了(新庄市) 五十川、堅苔沢道路改良工事が完了(温海町) 最上川橋架設工事が完了(狩川～松山町) 岩ツ橋、西正巖橋、松川橋、田元橋、宇津橋、観音寺橋、若神子橋、中河原橋が完成 平田町砂越で踏切除却工事が完了	酒田海岸浜中地区海岸浸食対策事業が着工 最上川が一級河川水系に指定 宮内町(南陽市)で土砂崩れ発生(死者6名)	蘇岡発電所運転開始 酒田港大浜埠頭第一岸壁工事が完了 山形県住宅供給公社設立
昭和41年	阿古耶第一土地区画整理事業が完了(山形市)	国土開発幹線自動車道建設法が制定、東北横断自動車道酒田線(仙台～酒田158km)が予定路線に指定	国道13号の栗子ハイウェイ(20.7km)が全線開通、西栗子トンネルも供用開始 県内初の消雪道路が新庄駅前通りに一部完成(500m区間) 出羽大橋架設工事に着手 飯豊橋架設工事が完了 長者原橋、河北橋が完成 不動橋架換工事が完了 下原・山形停車場線飯塚橋架換工事が完了	台風4号により大蔵村升玉で地すべり発生(死者8人、負傷者1人、住宅倒壊埋没1棟) 日向川中小河川改修事業が着工 蔵王ダムが着工(S45年完成) 月光川砂防工事が完了 升形川砂防工事が完了 西川町沼山で土砂崩れ発生(死者7名)	港湾審議会第26回計画部会で酒田港港湾計画が改訂、酒田港拡張計画(北港建設)が決定 酒田港大浜埠頭の1万トン岸壁2バースが完成、落成式

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
昭和 42年	山形駅前土地区画整理事業が完成 西銅町土地区画整理事業が完成(山形市) 中央土地区画整理事業が完成(天童市駅前～温泉) 朝日町宮宿で都市計画事業が完成		国道13号新庄バイパスが開通 国道113号宮内バイパス開通 古口大橋完成 飯塚橋完成(山形市) 下田橋完成(川西町) 山形山辺線鮎洗大橋架換工事が完了 宇津峠道路改良工事が完了	赤川が一級河川水系に指定 高坂ダムと大沢川発電所が完成、落成式 羽越水害発生(死者8人、負傷者137人、家屋の流出や全半壊2203棟)米坂線不通(翌年6月再開) 竹田排水機場が完成(直轄:最上川下流) 大俣川砂防工事が完了 白川荒廃砂防工事が完了 泉田川中小河川改良工事が完了 小国川小規模河川改良工事が完了	酒田港に5000トン岸壁が完成 酒田港に土砂しゅんせつ船「月山丸」が配置 酒田～ソ連・ナホトカに定期航路開設、翌年7月不採算のため廃止 飛島漁港勝浦、中村間海岸護岸着手 大沢川発電所運転開始
昭和 43年	蔵増川都市下水路完成 上山駅松山線前川大橋完成		国道13号赤湯バイパス開通 国道13号山形バイパス(山形市蔵王飯田～天童市久野本、20.4km)が開通 国道48号の関山トンネルが開通 国道344号青沢トンネル開通 羽黒町手向と月山八号目を結ぶ月山高原ラインが開通 県道酒田金山線(現国道344号)の青沢トンネルが完成	荒川が一級河川水系に指定 新田川排水機場が完成(直轄:最上川上流) 真室川町差首鍋で大規模地すべり発生(家屋全半壊13戸)	山形～作並が交流電化に切り替え、仙山線が全線交流電化 奥羽本線米沢～山形の交流電化が完成、山形～上野が全線電化 奥羽本線の特急「やまばと」が485系電車化される。羽越本線に寝台特急「日本海」(大阪～青森)が登場
昭和 44年			主要地方道仙台川崎線山形道が国道286号に、米沢左沢線が国道287号に昇格	遊佐海岸菅里地区海岸浸食対策事業が着工 最上・庄内地区で水害発生(死者2人、負傷者8人、家屋の流出や全半壊1,104棟)など 北陸地方建設局荒川砂防工事事務所が設置(現飯豊山系砂防事務所)	堅谷漁港鶴岡市から山形県へ管理移管 吹浦漁港遊佐町から山形県へ管理移管

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
昭和 45年		東北横断自動車道酒田線の村田～寒河江が基本計画区間に指定	国道286号、287号国道昇格 国道7号鼠ヶ関バイパスが開通 国道13号米沢バイパス(5.3km)と米沢大橋が供用開始 鳥海ブルーライン(34.9km)が開通(未舗装で無料、1973年より有料化) 国道47号本合海大橋完成	蔵王ダムが完成 屋代川中小河川改修事業が着工 白岩急傾斜地対策事業が着工	由良漁港海岸に着手 酒田港変更計画により工業用地造成着手 酒田港北港地区起工式 酒田港港湾計画改訂(港湾審議会第43回計画部会) 肘折発電所運転開始 山形交通尾花沢線(大石田～尾花沢、大正15年開業)が廃止
昭和 46年	大福田上西山線、常葉こ線橋完成		国道7号の温海バイパスが完成 国道13号の川樋バイパスが開通 国道13号の土生田バイパスが開通 国道47号の本合海大橋が開通 国道112号の中山バイパス、長崎大橋が開通 国道113号の幸来橋が開通	白川ダム(直轄)が着工 亀山川中小河川改修事業が着工 田沢川他(46年災・災害助成) 温海海岸大岩川地区海岸浸食対策事業が着工 京田川流域で水害発生(家屋の流出や全半壊1,069棟)など	白鷹町鮎川地区柏原団地に柵窪38戸、荒山4戸、計210人が集団移転 山形県酒田海洋センター開館
昭和 47年	上山、山形、西天童線上町地区完成 山元蔵増線老の森こ線橋完成	東北横断自動車道酒田線の朝日～酒田が基本計画区間に指定	国道7号の酒田バイパスが全線開通 酒田市の最上川河口をまたぐ出羽大橋が開通(全長817m、東北最長) 山形市内で28路線の一方通行規制が始まる	相沢川中小河川改修事業が着工 月光川ダムが着工(53年完成) 平根直轄地すべり対策工事が着工 大旦川排水機場が完成(直轄:最上川上流)	日本列島改造ブーム インターハイ開催 酒田港北港地区埋立着工(酒田臨海工業団地) 山形市西部工業団地造成開始 八幡原工業団地中核工業団地に指定 羽越本線新津～秋田が全線電化、大阪～青森の電化が完了 羽越本線特急「白鳥」「いなほ」が485系電車化

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
昭和 48年	堀切成田線完成	東北横断自動車道酒田線の山形～寒河江が整備計画区間に指定	有料道路西吾妻スカイバレー(米沢市白布～福島県裏磐梯、17.8km)が開通 中津川橋完成 国道13号の山形北バイパス(天童市久野本～村山市土生田)が開通 国道112号(石倉～本導寺)開通 猿羽根大橋完成 鳥海有料道路開通	天王川中小河川改修事業が着工 最上川濁水被害(山形市内で断水、上郷ダム発電停止、農作物被害約5.6億円)	山形空港の滑走路を300m延長、1500mで供用開始
昭和 49年	豊里、十里塚線本間美術館前完成 天童市公共下水道供用開始 神町都市下水路完成 渋川都市下水路完成		豪雪により小国町・飯豊町中津川地区などが孤立、死傷者18人 県内の4路線(344号、345号、347号、348号)が国道に昇格 国道112号の新名川橋が開通	寒河江ダム(直轄)が着工 升形川中小河川改修事業が着工 升形川他(49年災・災害助成) 県北部に集中豪雨、死者2人、浸水家屋2962戸 県北部地域記録的災害(戸沢) 大蔵村赤松山崩れ発生(死者17名、重軽傷者13名) 鳥海山噴火活動	酒田臨海工業団地分譲開始 東根大森工業団地造成開始 酒田港北港地区開港
昭和 50年			国道113号(南陽市～新潟県荒川町)の全面改良が完成 国道113号全線開通(直轄管理へ) 国道348号国道昇格 慈恩寺大橋完成	東北災害(真室川町)死者4名、行方不明1名、負傷者28名、家屋の流出や全半壊446棟) 真室川他(50年災・災害助成) 須川中小河川改修事業が着工 留山川砂防工事が着工(53年完成) 水窪ダムが完成	米沢八幡原中核工業団地造成開始 新山形県庁で開庁式 羽前千歳～秋田の交流電化が完成、奥羽本線が全線電化 特急「つばさ」が2往復になり、485系電車化 鼠ヶ関マリーナ着工

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
				最上川大久保遊水池事業、直轄着工 須川支川立谷川で砂防環境整備事業に着手	
昭和 51年	酒田大火 酒田大火1,774棟焼失 上山、山形西天童線江保こ線橋完成		国道7号新両羽橋(酒田市)完成	沼川排水機場が完成(直轄:最上川上流) 角川他(51年災・災害助成) 温海川ダムが着工(561年完成) 温海海岸五十川地区海岸浸食対策事業が着工(557年完成) 小白川砂防工事が着工(555年完成) 馬見ヶ崎川河川緑地完成	山形空港滑走路の国内初のグレーピング工事完成(ジェット機導入方策) 山形空港の東京便にB737型ジェット機就航 東根大森工業団地分譲開始 酒田港大浜運河埋立決定(第1回地方審)
昭和 52年	大蔵村肘折地区、県内初の特定環境保全公共下水道事業着手 山形駅前地区区画整理事業完成 山形駅停車場松波線(駅前広場、地下道山交ターミナル前、府中前)完成			寒河江ダム(西川町)の起工式 大久保遊水池(着工) 沼川中小河川改修事業が着工 離島荒廃砂防(飛島)工事が着工	新庄福田工業団地中核工業団地に指定 酒田駅前(B工区・A1工区)市街地再開発事業供用開始 酒田港北港地区埋立が完成
昭和 53年		東北横断自動車道酒田線の関沢～山形(現山形蔵王)間が整備計画区間に指定 東北横断自動車道酒田線の山形(現山形蔵王)～寒河江間の路線発表	国道112号中山バイパス開通	宮城県沖地震発生 黒川(53年災・災害助成) 遊佐町に治水専用の月光川ダムが完成 最上川濁水被害(天童市水田約10haでひび割れ、酸欠で鯉等大量死、農作物被害約56億円)	米沢八幡原中核工業団地分譲開始 遊佐工業団地造成・分譲開始 酒田北港地区のうち外港土砂処分場の計画完成 酒田中町(第4街区、第5街区)市街地再開発事業供用開始
昭和 54年	上山駅松山線松山工区完成 万世竹井線完成		国道13号の成沢バイパス(山形市)が全線開通 国道13号の尾花沢バイパスが開通	白水川ダムが着工(H2年完成) 鮭川直轄砂防工事が着工	庄内交通が過疎バス対策として県内初のデマンドバスを遊佐駅～吹浦駅間で運転 山形空港に大阪(伊丹)便開設

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
	河島楯岡線、楯岡陸橋完成 山形市公共下水道流通センター供用開始 酒田市公共下水道供用開始		国道112号月山道路の田麦保～湯殿山口間11kmが開通 国道112号の鶴岡東バイパス開通 国道112号中山バイパス開通 国道345号の赤川にかかる三川橋(鶴岡市)開通。 国道287号の最上川にかかる谷地橋(河北町)開通 国道345号松嶺バイパス開通 睦橋(PCディビダーク)完成	黒淵直轄地すべり対策工事が着工 渋川排水機場が完成(直轄:最上川上流) 鈴川排水機場が完成(直轄:最上川下流) 成田排水機場が完成(直轄:大山川)	山形空港が県管理の第二種空港として指定 山形空港に札幌便開設 吹浦漁港開港式 酒田中町(第4街区東、第6街区)市街地再開発事業供用開始
昭和55年	酒田大火、大火4周年のこの日落成式 山形県野球場の竣工式 初めての県営都市公園として、県民緑地公園を開設 新橋金山線完成 鶴岡市公共下水道供用開始		国道47号余目バイパス開通 国道112号西川バイパス開通 谷地橋完成 村山橋完成 三川橋完成	神室ダムが着工(H5年完成)	酒田北港の5万トン公共岸壁の建設工事着工 白川発電所運転開始
昭和56年	酒田火災復興土地区画整理事業 東山長谷堂線東山～荒楯完成 上山市公共下水道供用開始	東北横断自動車道酒田線の関沢～山形(現山形蔵王)間路線発表 一般有料道路笹谷トンネル(3,385m、約134億、7年5ヶ月)開通	国道13号雄勝トンネル開通 国道112号月山道路が全線開通	白川ダム(直轄)が完成	新庄中核工業団地造成開始 山形空港の滑走路を500m延長、2,000mとして供用開始 山形交通・庄内交通が山形～鶴岡間の定期バス新道経由に変更 山形空港から初めての国際チャーター便が運行(中国・上海行き) 鼠ヶ関マリーナ第1期工事完成 笹谷トンネルの開通を受けて山形交通と宮城交通の間で山形～仙台間の定期バス運行、1日4往復(所要1時間40分)

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
昭和 57年			飯豊町の国道113号が崩落、全面開通まで4ヶ月 国道113号添川バイパス(飯豊町)が開通	融雪が急速に進み、温海町・大江町・朝日町などで土砂崩れが相次ぐ 県営前川ダムが上市市に完成	住軽アルミニウム工業撤退 日本海最大の海洋レクリエーション基地鼠ヶ関マリナー開業 酒田港港湾計画改訂(港湾審議会第99回計画部会) 東北新幹線開業(6月) 上越新幹線開業(11月)
昭和 58年	柴橋日田線南町地内完成 寒河江市公共下水道供用開始			馬見ヶ崎川中小河川改修事業が着工(施行中) 日本海中部地震(M7.7)	酒田港北港地区の5万トン公共岸壁が完成、鉱産品などのふ頭搬入可能 米子漁港が温海町から山形県へ管理移管 第1回山形県住宅フェア開催(以降毎年度開催)
昭和 59年	中山町に中山公園完成 大蔵村特定環境保全公共下水道(肘折地区区)供用開始	東北横断自動車道酒田線(山形自動車道)の山形(現山形蔵王)～寒河江間の起工式	国道7号酒田市～三川町間で地吹雪のため自動車約300台立ち往生 国道112号の櫛引バイパスが全線開通 大浦橋完成 蔵王トンネル(NATM法採用)完成 国道7号五十沢バイパス開通	月山ダム関連国道112号付替及び工事用道路が着工 吉野川砂防工事が着工(H6年完成) 長井ダム(直轄)が着工 最上川湧水被害(草薙頭首工による取水が不可能、本川河道内への導流堤設置により取水)	新庄中核工業団地分譲開始 酒田北港に5万トン級の第一船(イギリス船、SIR JOHN FISHER号)入港 酒田港で内航コンテナ船雷鳥丸が就航(H10年廃止) 山形空港の新ターミナルオープン
昭和 60年	北本町飛田線南本町地内完成 県野球場周辺に山形県中山公園が整備される 山形県総合運動公園の起工式 羽黒町特定環境保全公共下水道(手向地区)供用開始		間沢、寒河江間自転車道開通 国道345号大日坂トンネル開通 国道13号尾花沢バイパスが全線開通 蔵王エコーラインと蔵王ラインが日本道路公団から県道に移管	温海川ダム付替道路が完成 最上川湧水被害(県内各地でポンプ揚水実施、62箇所に井戸新設、農作物被害約30億円)	東北・上越新幹線上野開業のため「やまばと」廃止 山形空港の東京便がこれまで最高の5往復 鶴岡駅前(A・B地区)市街地再開発事業供用開始(末広ビル)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
昭和 61年	羽入大森線東根陸橋完成 道形黄金線錦町陸橋完成 日本の道100選、本県から北口通り(河北町)が選ばれる 金山町が町並み景観条例を制定 尾花沢市で銀山温泉家並保存条例が可決 米沢市特定公共下水道(八幡原処理区)供用開始	東北横断自動車道酒田線の朝日(現庄内あさひ)～酒田間が整備計画区間に指定	国道13号上山バイパス開通 鬼面川橋完成 有料道路西蔵王高原ラインが開通	石子沢排水機場が完成(直轄:最上川上流) 県営温海川ダム(温海町)が完成 田沢川ダムが着工	国鉄分割・民営化関連8法成立 (翌年4月JRグループ発足) 温海川発電所運転開始
昭和 62年	総合保養地域整備法(リゾート法)施行 建設省の都市景観形成モデル都市に鶴岡市が指定 最上川流域下水道(村山処理区)供用開始 最上川流域下水道(置賜処理区)供用開始 白鷹町公共下水道供用開始 東根市流域関連公共下水道供用開始 村山市流域関連公共下水道供用開始 高畠町流域関連公共下水道供用開始 南陽市流域関連公共下水道供用開始	日本海沿岸東北自動車道と東北中央自動車道が国土開発幹線自動車道の予定路線に指定	県内で初めて山形駅前大通で行われた電線・電話線の地中化工事完成 鍋越トンネル完成 県道鶴岡羽黒線手向バイパス開通 山形停車場松波線府中前地下道完成 豊里十里塚線泉陸橋完成 国道7号鶴岡バイパス開通	災害関連砂防事業(温海町管内)(563年完成) 寒河江ダム完工式 新鶴子ダム完成 赤川直轄砂防工事が着工 米沢市大小屋地区で県内初の雪崩対策工事が着工(H3年完成) 温海町で集中豪雨発生	庄内空港の設置が運輸省より許可 山形～福島間の新幹線乗り入れ直行特急が確定 12月18日には第3セクター方式での次年度からの着工が決定 山形市七日町(第1ブロック)市街地再開発事業供用開始(アズ七日町)
昭和 63年	長井市公共下水道供用開始 河北町流域関連公共下水道供用開始 米沢市公共下水道供用開始	東北横断自動車道酒田線の朝日(現庄内あさひ)～酒田間に施行命令 東北横断自動車道酒田線宮城県側開通 東北横断自動車道酒田線の朝日(現庄内あさひ)～酒田間の路線発表	国道112号寒河江バイパス全線開通 国道287号長井橋完成 国道347号鍋越トンネルが開通 国道112号赤川に架かる袖浦橋(酒田市)が開通	月山ダムが本体着工 綱木川ダムが着工(施工中) 神室ダムの定礎式 須川特定緊急事業に着手	庄内空港建設工事が着手 フラワー長井線を経営する第三セクター山形鉄道株式会社が設立 山形新幹線建設の起工式を山形駅前広場で行う 山形鉄道株式会社フラワー長井線が開業
平成 元年	天童鮭洗線落合工区完成	東北横断自動車道酒田線の寒河江～月山沢(現月山)間及び酒田～酒田北(現酒田みなと)間が整備計画区間に指定	県道大江西川線の大井沢トンネル開通、県管理トンネルとして最長(1,565m)	馬見ヶ崎川等火山砂防事業に着手(水系砂防の一部)	庄内交通と宮城交通が酒田・鶴岡～仙台間の高速バスの運行開始

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
	中山公園線中山こ線橋完成 温海町公共下水道(温海処理区)供用開始 新庄市公共下水道供用開始 川西町流域関連公共下水道供用開始	東北中央自動車道の高畠～村山間が基本計画区間に指定 東北横断自動車道酒田線の田麦俣(現湯殿山)～朝日(現庄内あさひ)間が整備計画区間に指定 県内初の高速道路として、東北横断自動車道酒田線の山形北～寒河江間11.1kmが開通	国道287号の最上川に架かる柏陵橋が開通 国道347号の横山バイパスが全線開通、最上川に架かる虹の大橋も開通 大井沢トンネル開通 柏木トンネル開通 暮点橋開通	鴨の谷地(上市市・山形市)災害関連緊急地すべり対策工事が着工(H2年完成) 蔵王地区で全国初のNTT-A型地すべり対策事業(完成) 最上川中流堰(最上川さみだれ大堰)に着手	山形市七日町(第1ブロック南)市街地再開発事業供用開始 酒田港で波力発電防波堤防を設置し実証実験を開始(H11終了)
平成2年		東北横断自動車道酒田線の寒河江～月山沢(現月山)間及び田麦俣(現湯殿山)～朝日(現あさひ)間に施行命令 東北横断自動車道酒田線の宮城川崎～笹谷間11.9kmが開通 東北横断自動車道酒田線の酒田～酒田北(現酒田みなと)間に施行命令	肘折トンネル開通 寒河江川橋完成 鬼坂トンネル開通 ふれあい橋完成 二井宿トンネル開通	寒河江ダム完成 温海町管内砂防激甚災害対策特別緊急事業が完成 月山ダム関連付替国道112号が全線供用開始 長井消流雪用水導入事業に着手	山形交通が新庄～仙台間のバスの運行開始 酒田市飛島に初めてヘリポートが完成 山形交通と新潟交通が山形～新潟間の長距離バスの運行開始 山形交通と東北急行バスが新庄～東京間の夜行長距離バスの運行開始 遊学館完成 天童駅東口市街地再開発事業供用開始 鼠ヶ関マリーナ第2期工事完成 バブル崩壊
平成3年	蔵王・月山地域リゾート構想承認 美畑天童線、千歳橋完成 万世橋成島線山工工学部前完成 べにばな国体の主会場となる山形県総合運動公園が天童市に開園する	東北横断自動車道酒田線関沢IC～山形北IC間開通(村田JCT～寒河江IC間全面開通) 東北横断自動車道酒田線の寒河江～月山沢(現月山)間・田麦俣(現湯殿山)～朝日(現庄内あさひ)・酒田～酒田北(現酒田みなと)間の路線発表 東北中央自動車道の山形南(現山形上山)～東根間が整備計画区間に指定	国道7号新両羽橋(酒田市)の4車線化が完成 国道47号亀割バイパス開通 東山形長谷堂線4車線化完成 国道348号白鷹トンネルが開通	白水川ダムの竣工式 蟹ヶ沢(米沢市)地すべり発生(幅600m～800m、長さ1800m、面積約128ha)	庄内空港開港(第3種空港、滑走路2,000m) 庄内空港に東京便、大阪(伊丹)便開設 米沢ヘリポート着工

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
		日本海沿岸東北自動車道の温海～鶴岡間、東北中央自動車道の福島～米沢間及び村山～尾花沢間が基本計画区間に指定 東北横断自動車道酒田線関沢～山形北間13.9kmが開通	国道287号最上川に架かる築瀬橋(寒河江市)が開通 国道345号鬼坂トンネルが開通 国道347号左沢バイパス開通 庄内空港線サンサンロード開通		
平成4年	第47回国民体育大会(へにばな国体)開催 県内3番目の流域下水道として、最上川流域下水道山形処理区の供用開始 北本町飛田線大町地内完成 南口庄内橋線完成 最上川流域下水道(山形処理区)供用開始 大曲二色根線完成 山形市流域関連公共下水道供用開始 天童市流域関連公共下水道供用開始 山辺町流域関連公共下水道供用開始 中山町流域関連公共下水道供用開始 鶴岡市公共下水道(湯野浜処理区)供用開始		国道7号酒田バイパスの全線4車線化が完成 国道7号鶴岡バイパスが全線開通 国道13号飯田バイパスの高架橋完成 国道121号大峠道路供用 国道348号が17年の歳月と総工費約205億円を投じ全線開通 国道13号南陽バイパスが開通 横倉スノーシェルター完成 県道山形朝日線(大蔵、送橋、杉下工区)開通		山形新幹線開業 米沢ヘリポートが東北で初の公共用ヘリポートとして米沢市八幡原に開港 山形空港に名古屋(小牧)便開設 山形交通が米沢～仙台間のバスの運行開始 酒田港と中国黒竜江省・ハルビンを結ぶ新航路「東方水上シルクロード」が開設 酒田港開港500年記念式典 東方水上シルクロード第一船が酒田港に入港 庄内空港に東京便2往復運航開始 東北芸術工科大学開学
平成5年	JR山形駅の東西自由通路が開通	東北中央自動車道の上山(現山形上山)～東根間に施行命令	道の駅(寒河江、月山、あつみ、河北)として4箇所指定 米沢県南公園自転車道線(置賜自転車道、23.1km)完成 油戸(高波対策)シェルター完成	県営神室ダムの竣工式	鶴子発電所運転開始 日本海病院オープン 酒田港港湾計画改訂(港湾審議会第144回計画部会) 酒田港国際ターミナル(多目的大型岸壁)の工事着手

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
平成 6年	<p>六部館山線完成</p> <p>羽黒町特定環境保全公共下水道(西部処理区)供用開始</p> <p>八幡町公共下水道供用開始</p>	<p>東北中央自動車道の山形南(現山形上山)～東根間の路線発表</p> <p>東北横断自動車道酒田線の寒河江～月山沢(現月山)間の起工式</p>	<p>新庄酒田道路と新潟山形南部連絡道路が地域高規格道路の計画路線に指定</p> <p>国道113号新宇津トンネル(1,335m)開通</p> <p>国道121号館山バイパス開通</p> <p>県道余目温海線立岩橋完成</p> <p>山形市中心商店街に駐車場案内システムが稼働</p>	<p>月山ダムの定礎式</p> <p>深沢(大江町)災害関連緊急地すべり対策工事が着工(H7年完成)</p> <p>鳥海山火山噴火警戒避難対策事業が着手(H17年完成)</p> <p>最上川濁水被害(南陽市で水田ひび割れ、稲立ち枯れ、農作物被害約59億円)</p>	<p>小波渡漁港が鶴岡市から山形県へ管理移管</p> <p>県営としては初の高層住宅となる、県営あたご団地62戸が管理開始(EVも初めて設置)</p>
平成 7年	<p>県郷土館(文翔館)オープン</p> <p>米沢駅元籠町線住之江橋完成</p> <p>山形市に県政史緑地完成</p> <p>山形県県土景観ガイドプラン策定</p> <p>遊佐町公共下水道供用開始</p> <p>榊引町公共下水道供用開始</p>		<p>地域高規格道路2路線(新庄酒田道路、新潟山形南部連絡道路)11kmが整備計画区間に指定</p> <p>上山市榊下宿が建設省の「歴史国道」に選定</p> <p>県道高畠川西線、夏目橋吉島橋完成</p>	<p>阪神・淡路大地震</p> <p>阪神淡路大地震死者5,000人越す</p> <p>最上川中流堰(最上川さみだれ大堰)が完成</p> <p>県内8ブロック(直轄区域除く)で溪流環境整備計画を策定(着手)(H11年完了)</p> <p>滝平(山形市)災害関連緊急地すべり対策工事が着工(H8年完成)</p>	<p>山形空港に大阪(関西)便開設</p> <p>庄内空港に札幌便開設</p> <p>アルカディアソフトパーク山形の分譲開始</p> <p>酒田～韓国・釜山港間に東北で初めて定期コンテナ航路開設</p> <p>温海町鼠ヶ関沖に世界最大級の人工漁礁が設置</p> <p>鼠ヶ関港湾湾計画策定(第15回山形県地方港湾審議会)</p> <p>山形県住宅マスタープラン策定(H6～H7)(実施期間H8～H17)</p>
平成 8年	<p>天童市に山形県総合運動公園完成</p> <p>荒谷高嶺清池線こ線橋完成</p>	<p>東北横断自動車道酒田線の笹谷～関沢間・日本海沿岸東北自動車道の温海～鶴岡間・東北中央自動車道の福島～米沢間および東根～村山間が整備計画区間に指定、また東北中央自動車道の村山～尾花沢間が用地等対応区間に指定</p>	<p>国道7号吹浦バイパスが開通</p> <p>国道7号の赤川に架かるおぼこ大橋が開通</p> <p>県道山形朝日線(西田、志戸田)開通</p>	<p>綱木川ダム付替道路開通</p> <p>大石田町最上川河岸堤防壁画が完成</p> <p>災害関連砂防事業(温海町管内)(H8年完成)</p> <p>犬川(鉄道橋)中小河川改修事業が着工</p>	<p>山形新幹線新庄延伸の沿線地域開発推進計画を県・沿線市町村・民間団体が一体となって策定</p> <p>山形空港に福岡便開設</p> <p>運輸省の第7次空港整備5ヶ年計画で山形空港の滑走路2,000mから2,500mへ延長計画採択</p> <p>庄内空港の大阪便変更(伊丹 関西)</p>

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
				蔵王山火山噴火警戒避難対策事業が着手(H16年完成)	
平成9年	山形停車場松波線東原工区完成 悠創の丘完成	日本海沿岸東北自動車道の朝日(新潟)～温海間及び酒田北(現酒田みなと)～象潟(秋田県)間が基本計画区間に指定 一般有料道路米沢南陽道路の米沢北～南陽高畠間(8.8km)開通 東北横断自動車道酒田線の庄内あさひ～酒田間(31.3km)開通 日本海沿岸東北自動車道の温海～鶴岡間に施行命令	国道113号の二井宿道路完成 国道345号遊佐バイパス開通 鳥海ブルーラインが無料開放	大久保遊水池が完成 最上川(米沢市)火山砂防工事が完成(S57年着工)	「マリンパークねがせき」オープン竣工式 加茂港港湾計画改訂(第17回山形県地方港湾審議会) JR東日本が山形新幹線の新庄延伸を発表 庄内空港に東京便3往復運航開始 庄内空港に函館便開設～平成10年まで(季節運航) 山形新幹線の新庄延伸事業決定
平成10年	「悠創の丘」が完成 山形駅西口地区開発先導的施設となる西口新都心ビル(霞城セントラル)の起工式 天童鮭洗線万歳橋完成 万世橋成島線西部小前完成 米沢駅元籠町線駅前通り区間完成 羽黒橋加茂線鶴園橋完成 美畑天童線香澄町～宮町完成	東北中央自動車道上山～東根間の起工式 東北横断自動車道酒田線の関沢～山形蔵王間の4車線化が完成供用 東北横断自動車道酒田線の寒河江～西川間(14.0km)開通 東北中央自動車道の福島～米沢間および東根～尾花沢間に施行命令。米沢～米沢北間および南陽高畠～山形南(現山形上山)間が整備計画に指定 日本海沿岸東北自動車道の温海～鶴岡間の路線発表	隼橋完成 道の駅「おおえ」完成 県道吹浦酒田線(酒田市藤塚)開通	浜海海急傾斜地対策工事が完成(H7年着工) 危機管理対策として県内5箇所の排水機場の遠隔操作開始	県公共事業評価監視委員会設置 山形新幹線関連道路事業の踏切統廃合工事着手 山形空港の福岡便運休 山形空港に函館便開設 庄内空港に国際定期チャーター便運航～平成13年まで(ハルビン) 酒田港定期コンテナ航路週2便化
平成11年	第12回全国スポーツ・レクリエーション際開催 最上川下流流域下水道事業庄内処理区の供用開始 天童鮭洗線長町工区完成 本町幸町線完成	東北横断自動車道酒田線の西川～月山間(16.5km)開通 尾花沢新庄道路(尾花沢毒沢～新庄市松本間8.1km)が開通 東北中央自動車道の福島～米沢間および東根～尾花沢間の路線発表	睦合橋完成 国道47号新庄市南バイパス開通 国道112号白岩バイパス開通 国道344号北青沢バイパス開通	綱木川ダムで定礎式 JR須川鉄道橋に着手(直轄)	山形新幹線新庄延伸開業 最盛期には5便あった山形空港の東京便が1日1便となる 小波渡漁港竣工式

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
	県営都市公園として9番目になる最上中央公園を開設 山形市に西蔵王公園完成 余目町流域関連公共下水道供用開始 藤島町流域関連公共下水道供用開始 三川町流域関連特定環境保全公共下水道供用開始 立川町流域関連特定環境保全公共下水道供用開始 小国町公共下水道供用開始 温海町公共下水道(鼠ヶ関処理区)供用開始				
平成12年	西川町に弓張平公園完成 松山町特定環境保全公共下水道供用開始(県代行事業) 朝日村特定環境保全公共下水道供用開始(県代行事業)	東北横断自動車道酒田線の湯殿山～庄内あさひ間(9.9km)開通	国道47号南野バイパス全線開通 国道121号館山バイパス全線開通 国道345号鬼坂バイパス全線開通	長井ダム本体着工式 県営田沢川ダムが本体工事終了 泉郷(東根市)災害関連緊急地すべり対策工事が着工(H13年完成) 馬見ヶ崎川(山形市)火山砂防工事が完成	山形県住宅マスタープラン改訂(H12～13) 酒田港国際ターミナル(多目的大型岸壁)供用開始 酒田北港緑地展望台供用開始
平成13年	山形駅西口新都心ビル(霞城セントラル)竣工 山形ニュータウン地区土地区画整理事業認可 大江町公共下水道供用開始 最上町公共下水道供用開始 西川町公共下水道供用開始 戸沢村特定環境保全公共下水道供用開始(県代行事業) 酒田市流域関連公共下水道供用開始	東北横断自動車道酒田線の酒田～酒田北(現酒田みなと間(11.9km)開通	県道山形天童線(山形市漆山～天童市長岡)供用開始	鳥海山火山防災マップを公表 月山ダム竣工式 袖浦排水機場が完成(直轄:京田川) 銀山川の河川整備(景観に配慮)	6地方事務所+庄内支庁体制から、4総合支庁体制へ 東北公益大学、慶応大学先端生命科学研究所オープン 霞城セントラルビルオープンに合わせ、山形県すまい情報センター開設 鼠ヶ関マリーナで国際FJ級ヨット世界選手権大会開催 「マリンパークねがせき」全面供用開始 県立中央病院が山形市青柳に移転
平成14年	(6～8)第19回全国都市緑化やまがたフェア開催(寒河江、新庄) 最上川流域下水道村山処理区小菅浄化センター(フレックスプラン)供用開始	東北中央道、山形上山～東根間開通 東北横断自動車道酒田線、新笹谷トンネルを含む村田JCT～山形JCTで4車線化		蔵王山火山防災マップを公表	第53回全国植樹祭開催(金山) 山形空港の函館便運休

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
	大石田町流域関連公共下水道・特定環境保全公共下水道供用開始 金山町公共下水道供用開始 真室川町公共下水道供用開始 尾花沢市流域関連公共下水道供用開始 山形市の県立中央病院周辺に健康の森公園完成				山形空港の大阪(関西)便運休 山形空港の東京便運休 「加茂レインボービーチ」オープン
平成15年	山形市七日町に複合型商業ビル「E-NAS」がオープン 舟形町特定環境保全公共下水道供用開始(県代行事業) 尾花沢市特定環境保全公共下水道(銀山処理区)供用開始 山形市に悠創の丘完成 山形ニュータウン「蔵王みはらしの丘」分譲開始 山形市の県立中央病院跡地に県民ふれあい広場完成 新庄市に最上中央公園完成 寒河江市に最上川ふるさと総合公園(前期分)完成	東北中央自動車道の福島～米沢間、米沢～米沢北間および日本海沿岸東北自動車道の温海～鶴岡間が新直轄で施工となる	国道112号(鶴岡市菱津～加茂)が全線完成 国道458号(最上橋)が全線完成 県道山形上山線(山形市津金沢)全線完成 県道米沢高畠線(米沢市花沢～川井)が全線完成	三陸南地震、村山市、中山町、最上町で震度5を観測 大網(朝日村)地すべり対策工事が完成 河川砂防情報システム(河川系)の運用開始	山形空港の東京便運航再開 庄内空港に東京便4往復運航開始 庄内空港の大阪便廃止(関西) 山形市七日町第4ブロック市街地再開発事業供用開始(E-NASビル) 酒田港が総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)に指定
平成16年	大蔵村特定環境保全公共下水道(清水処理区)供用開始(県代行事業)	寒河江スマートインターチェンジ社会実験(～平成18年3月)	朝日村田麦俣の国道112号線沿いで地滑り発生、国道が6日間全面通行止め 国道458号長谷堂バイパスが全線完成 県道酒田松山線(酒田市小牧～平田町砂越)が全線完成 県道宮野浦坂野辺新田線(酒田市飯森山～錦町)が全線完成	土砂災害危険箇所図を全市町村へ伝達 黒淵(戸沢村)直轄地すべり対策工事が完成 JR須川鉄道橋が完成(直轄)	山形もがみ国体開催 プロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」の2軍本拠地が山形に決定 庄内空港の大阪便運航(伊丹) 酒田港で日本初の洋上風力発電事業が開始 酒田港多目的国際ターミナルの浚渫工事完了により4万トン級大型船舶対応となる 酒田港本港東ふ頭地区の緑地整備が完成、本港地区再開発事業が全面供用・酒田港北港地区耐震強化岸壁が供用

(暦年)

建設行政に関する主な出来事(戦後)

年	主な出来事(土木のあゆみ(山形県土木技術者会)、山形県史、東北の土木史より抜粋)				
	都市計画・下水道	高速道路	道路	河川・砂防・ダム	鉄道・港湾・空港・県営住宅・その他
					酒田北港地区に専用岸壁が完成 酒田港でSOLAS条約の改正に対応した保安体制が始動
平成 17年		国道13号主寝坂トンネル(部分)供用開始	ホームページで道路規制情報の運用開始 国道287号明鏡橋が供用開始 国道347号三ヶ瀬橋が供用開始	河川砂防情報システム(砂防系)の運用開始 正法寺川砂防堰堤群が県土木施設初の登録有形文化財に登録	庄内町のJR羽越本線で特急いなほが脱線、5人死亡、32人負傷 庄内空港の搭乗者数が500万人に達する 県内初となるPFIによる県営住宅建替事業が着工(県営鈴川団地移転建替事業) 酒田中町三丁目地区市街地再開発事業が完成 新山形県住宅マスタープラン(仮称)策定開始 酒田港とその周辺施設が「みなとオアシス」に認定 鼠ヶ関港港湾計画改訂(第22回山形県地方港湾審議会)
平成 18年		国土開発幹線自動車道建設会議で東北中央自動車道の整備手法について南陽高島～山形上山間が有料道路方式、東根～尾花沢間が新直轄方式に決定		山形県として初めて土砂災害防止法に基づき上山市、東根市、朝日町、鮭川村、白鷹町、鶴岡市内の合計95箇所を土砂災害警戒区域等に指定(3月現在)	酒田市、鶴岡市が景観法に基づく景観行政団体になることに県が同意